

労働災害防止推進大会

と き 2026年1月16日

ところ ホテル ハイマート



高田労働基準協会

労働災害防止推進大会 次第

1 開会あいさつ

高田労働基準協会 会長 三菱ケミカルハイテクニカ株式会社

上越基盤部長 坂本 浩一
上越テクノセンター代表

2 来賓祝辞

上越労働基準監督署 署 長 山田 道人 様

3 上越労働基準監督署ご指導事項

上越労働基準監督署 安全衛生 関口 剛 様
課 長

4 大会宣言

高田労働基準協会 副会長 株式会社 頸城自動車

常務取締役 田村 治

5 安全祈願

八坂神社 宮司 様

玉串奉奠 坂本会長・山田署長

6 閉会あいさつ

高田労働基準協会 副会長 株式会社ユアテック 上越営業所

上越営業所長 高橋 幸治

閉 会

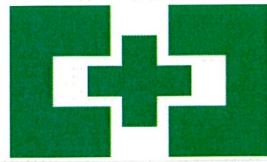
安全管理優良事業場 受賞 おめでとうございます



日本化薬株式会社 上越工場 様

既に、「労働基準ユース10月号」紙面で受賞がご紹介されていますが、令和7年度第75回新潟県労働安全衛生大会において、安全管理優良事業場として受賞されました日本化薬(株)上越工場では、毎月の安全衛生委員会の開催、管理職への周知を図る「安全衛生推進委員会」を開催しており、安全活動においては、年間活動計画を作成し「安全講習」では、自社内のRST有資格者による自社課題を基にした内容で実施しているほか、「ヒヤリハット活動・KYT活動」を推進する等、課題を基にした新たな工夫を交え、安全意識の高揚を図っています。

その結果、2017(平成29)年9月3日より休業災害ゼロを継続し、連続無休業災害日数2,800日以上を更新している功績が顕著であることから受賞されました。



大会宣言

～ 労働災害防止の誓い ～

2026年は60年に1度の「丙午」の年であり、ミラノ・コルティナ冬季オリンピック、WBCワールド・ベースボール・クラシック、FIFAサッカーワールドカップなど開催される「心が熱く燃える年」を迎えようとしている。

しかしながら、日本経済においては、国会における「台湾有事発言」にともなう日中関係の緊張も解けない情勢下であるとともに、危機管理の政府投資を成長の呼び水とする「責任ある積極財政」を掲げ、日経平均株価が年明けには最高値を更新しているとは言え、巨額の債務を抱えた日本の財政に対するマーケットの信頼を落としてはならず、かつ、円安傾向に歯止めがかからず、物価上昇と金利上昇が同時に進行するインフレの時代と言える状況下では、先行き不透明感が強いと言える。

加えて、厚生労働省の調査による労働者の実質賃金は、多くの企業で賃上げがなされているにもかかわらず、11か月連続のマイナスとなっており、働く人の生活を圧迫しているといえる情勢下でもある。

このような非常に厳しい情勢下ではあるものの、私達が安全と健康を確保し快適な職場を形成することは、そこで働く労働者のみならず、企業経営にとっても労働の効率化や生産性の向上をもたらす重要なことであり、崇高な目標である「労働災害はあってはならない」「おこしてはならない」ことは、些かの揺るぎない目標であることは言うまでもない。

厚生労働省が策定している2023年にスタートした第14次労働災害防止計画においては、「2027年迄には死傷災害を減少に転ずる」旨の目標を掲げているところであるが、労働災害は依然として後を絶たない状況であり、2025年における上越労働基準監督署管内での休業4日以上労働災害死傷者数は、前年比でプラス12人、率にしてプラス5.1%の速報値が報告されており、増加傾向を示している状況ではある。加えて、死亡労働者数は、2024年と比較して5人の減少とはなっているものの、2人の方の尊い命が失われた結果となっている。

あくまでも私達の崇高な目標は「災害ゼロ」であることは言うまでもなく、更なる安全衛生管理体制の強化と安全衛生活動の充実を図り、労働者一人ひとりの「安全・安心」への認識をより高めることにより、各事業場が「災害ゼロ」を達成するかが問われている。

そのためには、まずは経営トップ自らが強い意思で「災害ゼロ・快適職場の形成」を表明し、労働者一人ひとりが参加する安全衛生活動の更なる活性化の必要があるとともに、職場での安全衛生教育を徹底することにより安全意識の高揚を図り、職場における潜在的な労働災害発生リスクを取り除く不断の努力を継続するボトム・アップを推進することにより、労働災害発生リスクへの感受性を研ぎすますることが重要である。

よって、ここに決意も新たに労働災害防止のため誓うものである。

- 一 経営トップ・幹部は、まずは「災害ゼロ」「安全・安心職場の形成」を宣言し、自ら率先して心身両面にわたる健康づくりと、効果的な自主的安全衛生管理活動を徹底する。
- 一 「人はミスをする」「機械は故障する」「絶対安全は存在しない」を前提とし、リスクアセスメントを実施したうえでリスクの低減措置を図り、労働災害を未然に防止する。
- 一 一人ひとりの主体性をスキルアップするとともに、潜在するリスク情報の共有化を図り、安全・安心な職場を構築する。

2026年1月16日

上越労働基準監督署管内
上越市・妙高市事業場一同

2026年 労働災害防止推進大会

スナッフ
写真



当日の会場全体



坂本 高田労働基準協会長 ご挨拶



山田 上越労働基準監督署長 ご挨拶



関口 上越労働基準監督署 安全衛生課長 ご指導



安全祈願祭 はじまりです!!



玉串奉典 坂本 協会長



玉串奉典 山田 上越労働基準監督署長